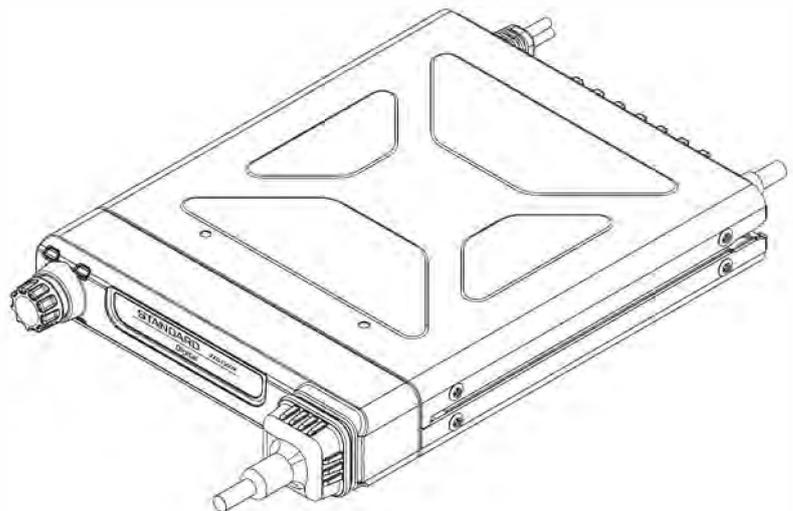




# 車載型デジタル簡易無線電話装置

## VXD4500V

## 取扱説明書



無線局種別コード:3A(免許局)  
4値FSK変調 簡易な業務用

お買い上げいただき、ありがとうございました。  
正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。  
お読みになった後は、大切に保管してください。

この無線電話装置は国内専用モデルです。  
海外では使用できません。

# 目次

お客様へ .....	1
防塵性について .....	1
構成品 .....	1
安全上のご注意 .....	2
ご使用にあたっての準備 .....	4
各部の名前と機能 .....	5
本体 .....	5
スマートマイク “MH-78A10J” .....	6
液晶表示部 .....	8
LEDの動作概要 .....	9
設置と接続 .....	10
電源の接続 .....	10
アンテナの接続 .....	10
スマートマイク “MH-78A10J” の接続 .....	11
車載用ブラケットの使いかた .....	11
GPSレシーバー “FGPS-3KIT” について .....	11
通信の基本操作 .....	12
呼び出しを受けたとき .....	17
その他の基本ボタン操作 .....	18
モニターボタン .....	18
キーロックボタン .....	18
緊急ボタン .....	19
選択ボタン .....	19
機能ボタン .....	20
個別通信設定と受信待ち受け画面について .....	20
簡易リスト .....	21
送受信メニュー .....	24
拡張機能(コールモード) .....	28
拡張機能(セットモード) .....	44
故障かな?と思う前に .....	55
オーバーホールのお勧め .....	55
定格 .....	56
オプション .....	表 3

## お客様へ

### ■ お願い

- ◎ 本体底面に貼り付けてある“証明ラベル”を剥がしたり、無線電話装置やスマートマイクを“分解”または“改造”したり、指定以外の装置を接続することは、法律で禁止されています。
- ◎ 他人の会話を聞いて、その内容を漏らすと法律で罰せられることがあります。
- ◎ 本機にマイクなどを接続する際は、必ず当社純正のオプションを使用してください。当社純正品以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。当社純正品以外のオプションの使用が原因で生じた故障や破損、および事故などの損害については、当社では一切責任を負いません。
- ◎ 本説明書には、工場出荷時の標準的な設定での説明が記載されています。販売店にて、これらの設定を変更している場合は、操作方法が異なる場合があります。詳しくは、設定の変更をおこなった販売店にお問い合わせください。
- ◎ 内部の点検・修理は、お買い上げいただきました販売店または、八重洲無線株式会社国内営業部（電話：03-6711-4055）に御依頼ください。

## 防塵性について

本機は、IP5X 相当（JIS 保護等級 5 種防塵相当）の防塵性能を有し、埃などで無線機の安全性を損なわないように保護されていますが、埃などがスピーカーやマイク部分の表面に蓄積した場合、音量が小さくなったり、音質が悪くなったりすることがありますので定期的に確認、清掃することをお勧めします。

## 構成品

◎ 無線機本体.....	1
◎ スマートマイク “MH-78A10J” .....	1
◎ 車載用ブラケット.....	1
◎ 車載用ブラケット取り付けビス.....	一式
◎ DC 電源ケーブル.....	1
◎ 予備ヒューズ (5A).....	2
◎ マイクフック.....	1
◎ マイクフック取り付けビス.....	2
◎ 取扱説明書（本書）.....	1
◎ 保証書.....	1

## 安全上のご注意 ～必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただくために、次のことに十分ご注意ください。



### 危険

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



### 警告

誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



行ってはならない禁止事項です（例  分解禁止）。



必ず守っていただきたい注意事項です。



### 危険



#### 自動車を運転しながらスマートマイクを操作しない

事故の原因になるだけでなく、道路交通法違反になります。

運転者が使用するときには、車を安全な場所に止めてから操作してください。



#### 航空機内や病院内などの“使用を禁止された区域”での設置および運用をしない

電子機器や医療機器に影響を及ぼす場合があります。



#### 引火性ガスの発生する場所や高所などの危険な場所で使用しない

発火事故や落下事故などの原因になります。



#### DC 電源コードを挟んだり、押し潰すことがないように設置する

火災・発熱・発火・断線などの原因になります。



#### 通電中に無線機の天面やヒートシンクに触らない

本体は回路保護のために放熱しますので、通電中の無線機の天面やヒートシンクに触ると、やけどなどの原因になります。



### 警告



#### 分解や改造をしない

本機は電波法に基づく無線局です。

分解や改造は違法ですのでおやめください。また、ケガ等の事故や故障の原因になります。

- 本機は、“IP5X 相当”の防塵構造になっておりますが、防水構造ではありませんので、雨や水がかかる場所では使用しない  
故障の原因になります。
- 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない  
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。
- 心臓ペースメーカー装着者は使用しない  
本機からの電波がペースメーカーに影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



## 注意

- 指定以外のオプションを使用しない  
故障や破損の原因になります。
- スマートマイクを取り付けた際は、コードを強く引き伸ばしたままにしない  
コードの変形や断線などにより、故障の原因になります。
- 強い衝撃を加えたり、投げつけたりしない  
故障の原因になります。
- 磁気カードなどをスマートマイクに近づけない  
キャッシュカードやフロッピーディスクなどの内容が消去されることがあります。
- 無線電話装置を直射日光の当たる場所（ダッシュボード）や熱器具（ヒーター）の近くや水のかかる場所に設置しない  
無線機の金属部分が高温になり、ヤケドの原因になったり、プラスチックケースの変形や変色等の原因になります。
- シンナーやベンジンなどでケースを拭かない  
変形や変色等の原因になります。  
ケースが汚れた場合には、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- ゴム製品、プラスチック製品をケースに触れたまま放置しない  
無線機は回路保護のために放熱しますので、ゴムやプラスチックが変形や変色する原因になります。

## ご使用にあたっての準備

### ■ 簡易無線局免許申請

本機は電波法に基づいて技術基準適合証明を取得していますので、簡単な手続きにより簡易無線局免許を取得して、ご利用いただくことができます。

本機は、「ARIB STD-T98[デジタル簡易無線機]とSTD-9[アナログ簡易無線機]」に準拠し、アナログチャンネルでも運用可能なデジタル簡易無線機です。

また、他社互換デジタル通信モード“ユーザーコード通信”に対応しておりますので、互換を示す種別コード「3A」の他社デジタル簡易無線機と通信することができます。

### ■ 使用形態にあわせた設定

ご利用については、簡易無線局免許に基づいた基本設定や、ご使用の形態にあわせたカスタマイズが必要になります。

ご購入に際し販売店とご相談の上、無線機の設定を行ってください。

#### ◎ 基本設定

デジタル運用に必要なUC(ユーザーコード)や秘話コード、アナログ通信にはトーンスケルチ又はデジタルコードなどを設定します(購入時に販売店で設定を行います)。

#### ◎ カスタム設定

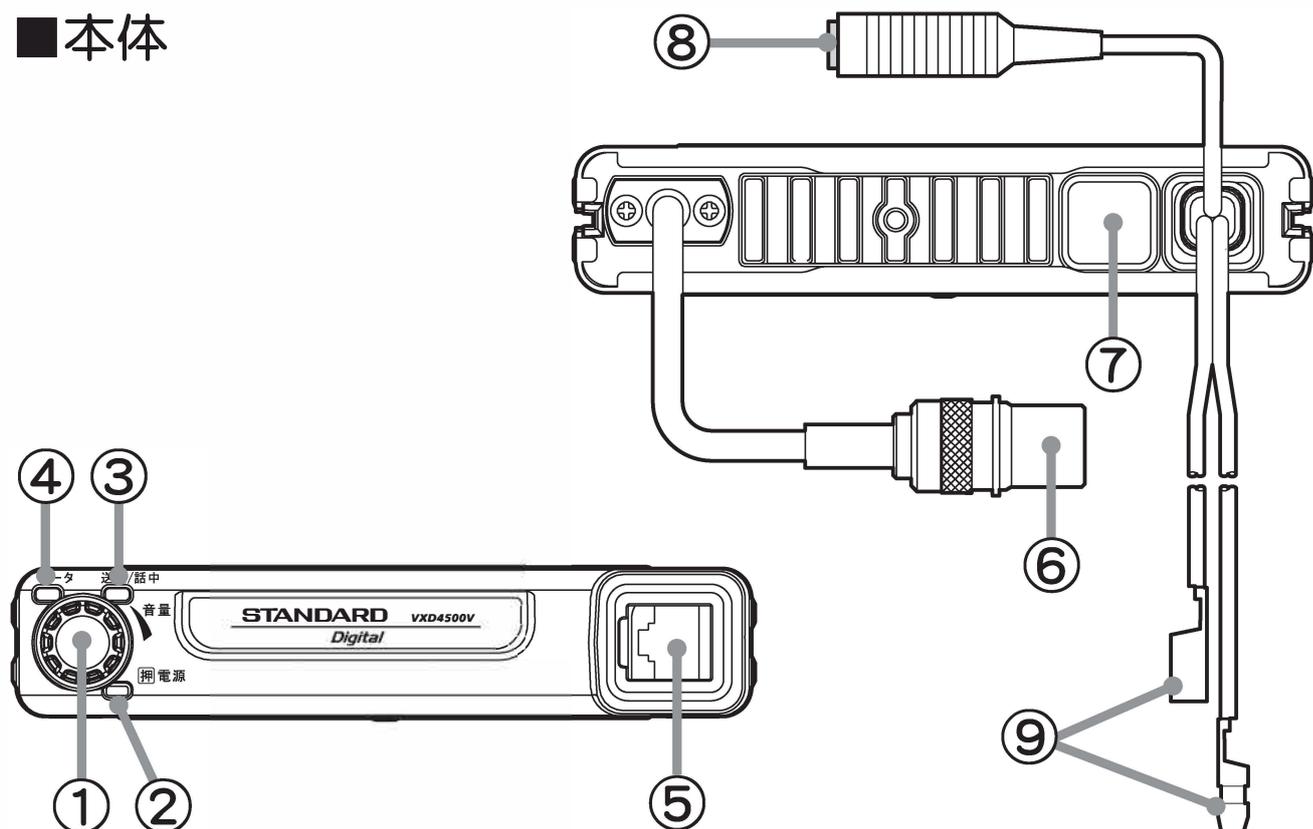
ご利用形態にあわせた個別通信機能(個別選択呼出し機能)のIDや名称設定、GPSオプション、データ通信用ケーブルの取り付けなどをおこないます。購入時に販売店とご相談の上、設定をおこなってください。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form.

U.S. Pat. Nos. #5,870,405, #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, #5,715,365, #5,649,050, #5,630,011, #5,581,656, #5,517,511, #5,491,772, #5,247,579, #5,226,084 and #5,195,166.

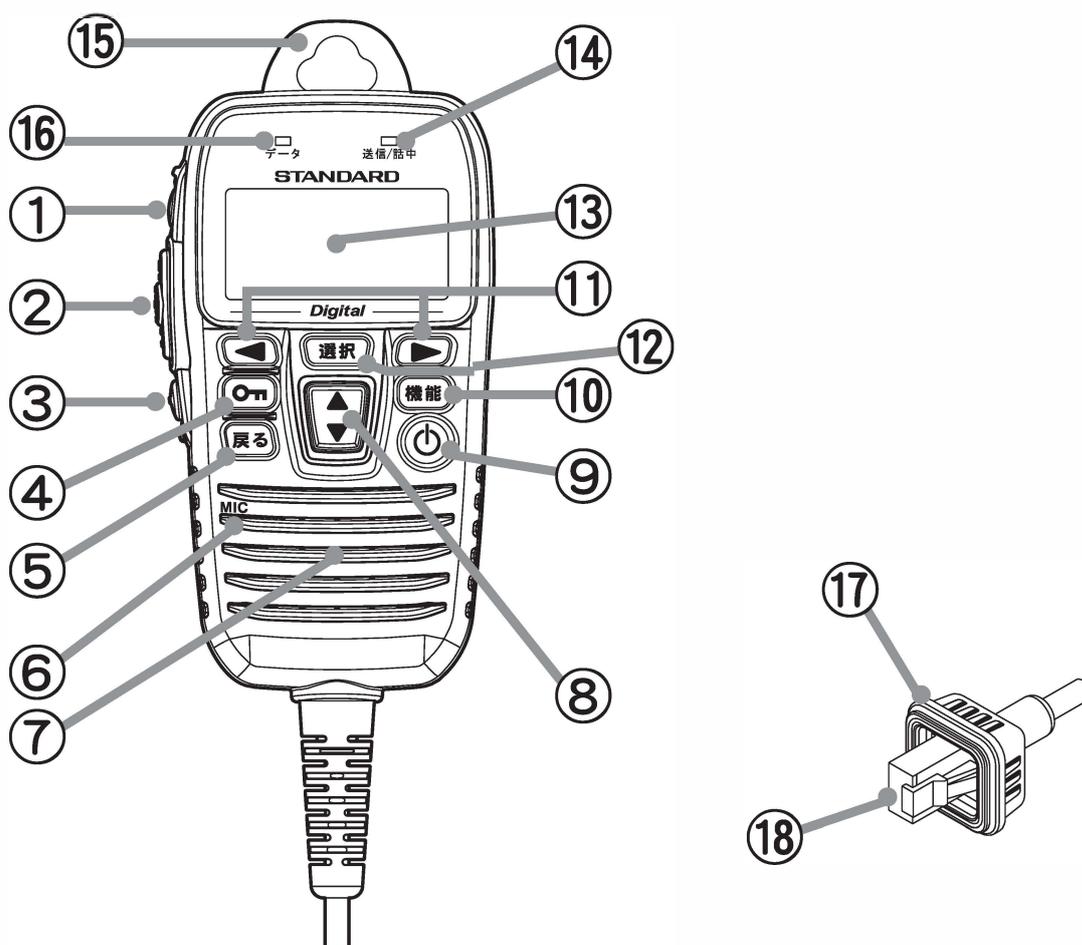
## 各部の名前と機能

### ■ 本体



- ① 電源スイッチ / 音量調節つまみ 押すと電源“ON”、再度押すと電源が“OFF”になります。まわして音量の調節をします。
- ② 電源“ON”LED 無線機の電源が“ON”の時に緑色で点灯します。
- ③ 通話表示LED 無線機の状態に応じて点灯、または点滅で表示します。
- ④ データ通信LED データ通信中は“オレンジ色”に点灯します。
- ⑤ スマートマイク接続端子 付属のスマートマイク“MH-78A10J”を接続します。
- ⑥ アンテナコネクター アンテナを接続します(M型コネクター)。
- ⑦ 外部アクセサリ用ケーブル取付穴 オプションの外部アクセサリ用のケーブルを取り付ける穴です。通常は防塵キャップが取り付けられていますので、販売店以外の方は外さないでください。
- ⑧ 外部スピーカージャック 3.5φミニピンジャック(メス)です。オプションの外部スピーカーを接続します。
- ⑨ DC電源コード 付属のヒューズ付DC電源ケーブルを使って12V/24Vのバッテリーまたは、オプションの専用直流安定化電源装置“FP-33”に接続します。

## ■スマートマイク “MH-78A10J”



- ① 緊急ボタン 緊急時に約2秒間押し続けることで、緊急モード動作になります（緊急モード：19ページ参照）。
- ② PTT ボタン PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、無線機は送信状態になります。放すと待ち受け/受信状態になります。
- ③ モニターボタン 無線チャンネルをモニターするときに押します。デジタルチャンネルでは、デジタル音声をモニターすることができます。
- ④ キーロックボタン 2秒間押し続けると、誤って各種ボタンに触れても設定が変わらないようにロックすることができます。もう一度2秒間押し続けるとロック解除となります。
- ⑤ 戻るボタン 各種設定を行っているときに、1つ前の状態に戻すことができます。

- ⑥ マイク ここに向かって話します。
- ⑦ スピーカー ここから相手の音声や操作音が聞こえます。
- ⑧ ▲ / ▼ ボタン 音量の調節をします。  
簡易機能設定や送受信メニューでは、アップ / ダウンスクロールボタンになります。
- ⑨ 電源ボタン 1秒以上押し続けることで電源のオン / オフをします。
- ⑩ 機能ボタン 簡易リスト画面 (21 ページ参照) に切り替わります。  
デジタル運用方式の個別通信モードでは、2 秒以上押し続けることにより送受信メニュー (24 ページ参照) に切り替わります。
- ⑪ ◀ / ▶ ボタン チャンネル切替え及び個別選択呼出しの呼先個別番号 (ID 番号) の切替えをします。
- ⑫ 選択ボタン
- ◎ “選択” ボタンを押しながら “電源” ボタンを押すことで拡張機能画面になります。
  - ◎ 選択呼出し表示中、「一斉 ➡ グループ ➡ 個別 ➡ 一斉・・・」の順番に切替わります。
  - ◎ 2 秒間押し続けると、“アナログチャンネル” と “デジタルチャンネル” を交互に切り替えることができます。
- ⑬ フルドット  
ディスプレイ 各種状態や情報を表示します。
- ⑭ 通話表示 LED 受信中は通信モードにより “緑色” “水色” “青または白色” の点滅、送信中は “赤色” または “青色” に点灯します。
- ⑮ ハンガーフック スマートマイクをハンガーに掛けるためのフックです。
- ⑯ データ通信 LED データ通信中は “オレンジ色” に点灯します。
- ⑰ 防塵カバー 無線機にモジュラーjackを差し込んだ後は、防塵カバーをしっかりとかぶせてください。
- ⑱ モジュラーjack スマートマイクを本体と接続するためのコネクタ (10 ピン) です。

## ■液晶表示部



	アンテナ（電界強度表示 / 送信出力表示） 受信時：受信している電波の強さに応じて4段階で表示します。 送信時：5W出力時は“”、1W出力時は“”が点灯します。
<b>ID</b> <b>CH</b>	「◀」「▶」ボタンの動作表示 <b>ID</b> ：呼び先選択機能として動作します。 <b>CH</b> ：チャンネル選択機能として動作します。
	秘話（デジタルモードで秘話運用の場合に点灯します）
	メッセージ ショートメッセージ送信中および、受信中に点滅します。
	GPSの捕捉状況 消灯：GPS受信機を接続していない状態 点滅：GPS衛星を捕捉中の状態 点灯：GPSデータを正しく受信しているとき
	ベルアイコン 個別通信時に点灯します。
<b>On</b>	キーロック 設定されたボタンやツマミがロックされ、無効の状態の時に点灯します。
	音量（ディスプレイ左下側に表示します） アイコン横のバーで音量位置の目安を表示します。

## LED の動作概要

通話表示およびデータ通信 LED は通信状況・動作状況に応じて下記のように点灯・点滅します。

### 通話表示 LED

LED の色・状態	通信（動作）状態
緑色点滅	アナログ通信受信時、デジタル UC 通信受信時、他局通信時
緑色点灯	モニター動作時
赤色点灯	アナログ通信送信時、デジタル UC 通信送信時、 デジタル個別通信送信時
青色点滅	デジタル秘話 UC 通信受信時、デジタル秘話個別通信受信時
青色点灯	デジタル秘話 UC 通信送信時、デジタル秘話個別通信送信時
水色点滅	個別通信受信時
水色点灯	個別通信および、デジタル秘話個別通信での、通話保持時間の時（および不在着信時）
白色点滅	緊急アラーム動作時および緊急信号着信時

### データ通信 LED

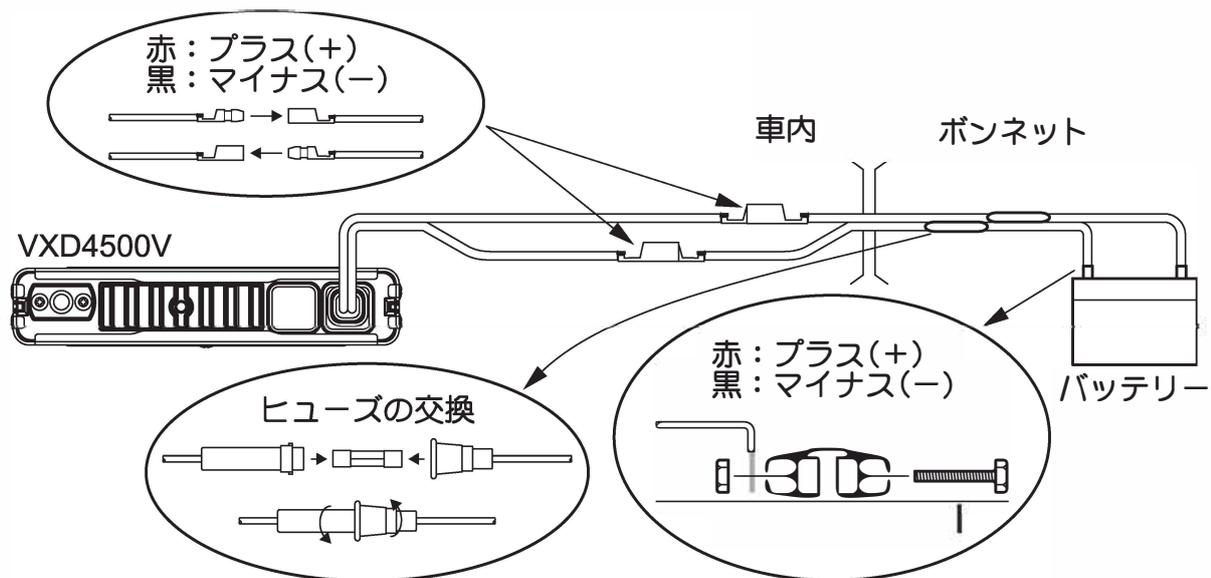
LED の色・状態	通信（動作）状態
オレンジ色点灯	データ通信中

## 設置と接続

### 電源の接続

#### ■車載で使用する場合

- ◎ 車のボディにバッテリーのマイナス（-）電極が接続してある“マイナス接地”の車でご使用ください。
- ◎ 必ず付属の電源コードを使用し、電源のプラス（+）側端子に電源コードの“赤線”、マイナス（-）側端子に電源コードの“黒線”を接続してください。
- ◎ 電源を接続した後は必ず、コネクター部分に絶縁カバーを被せてください。



#### ■事務所などで使用する場合

事務所などで使用する場合は、別売りの基地局用直流安定化電源“FP-33”をご使用ください。

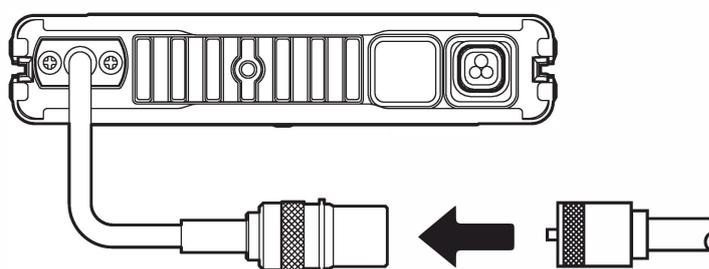
設置方法は、FP-33 に付属の取扱説明書をご覧ください。

### アンテナの接続

簡易無線電話装置用のアンテナを、アンテナコネクターに接続してください。

#### 補足

- 使用できるアンテナに関しては、お買い上げいただきました販売店にご相談ください。
- アンテナを接続した後は必ず、コネクターにカバーを被せてください。

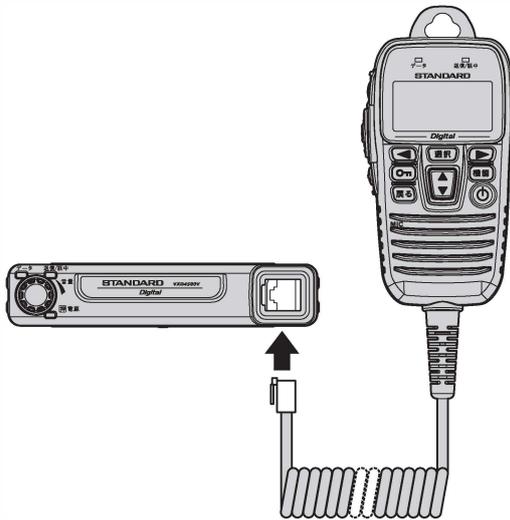


## スマートマイク “MH-78A10J” の接続

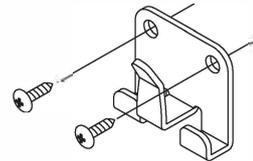
スマートマイク “MH-78A10J” のコネクタを、「カチッ」と音がするまで無線機本体の接続端子に差し込んでください。

**補足**

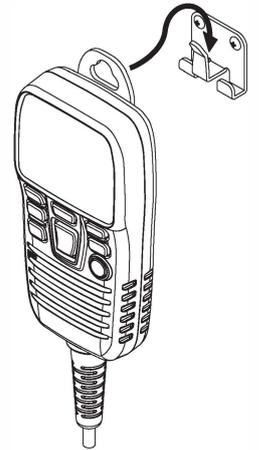
スマートマイクを接続した後は必ず、コネクタ部に防塵カバーを被せてください。



### マイクフックの使いかた



付属のマイクフック  
取り付けビス（2  
本）で、しっかりと  
取り付けます。



## 車載用ブラケットの使いかた

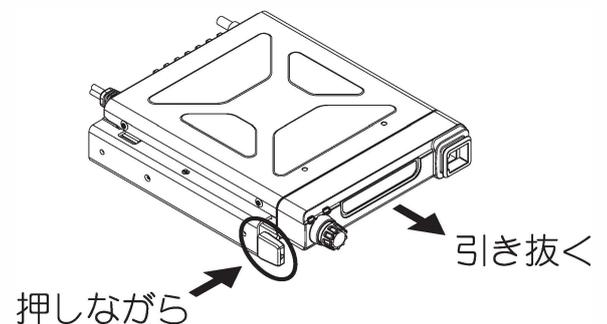
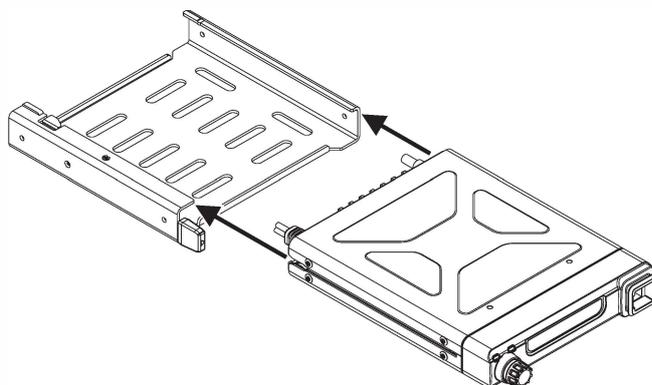
下図を参考にして、無線機側面の溝を車載用ブラケットに「カチッ」と音がしてロックがかかるまで確実に差し込んでください。

無線機を車載用ブラケットから外す場合は、矢印で示す箇所を押しながら、無線機本体を引き抜きます。

**補足**

○ 車載用ブラケットは、付属のブラケット取り付けビス（4本）でしっかり取り付けてください。

○ 車載用ブラケットは、上下どちら側にも取り付けることができます。

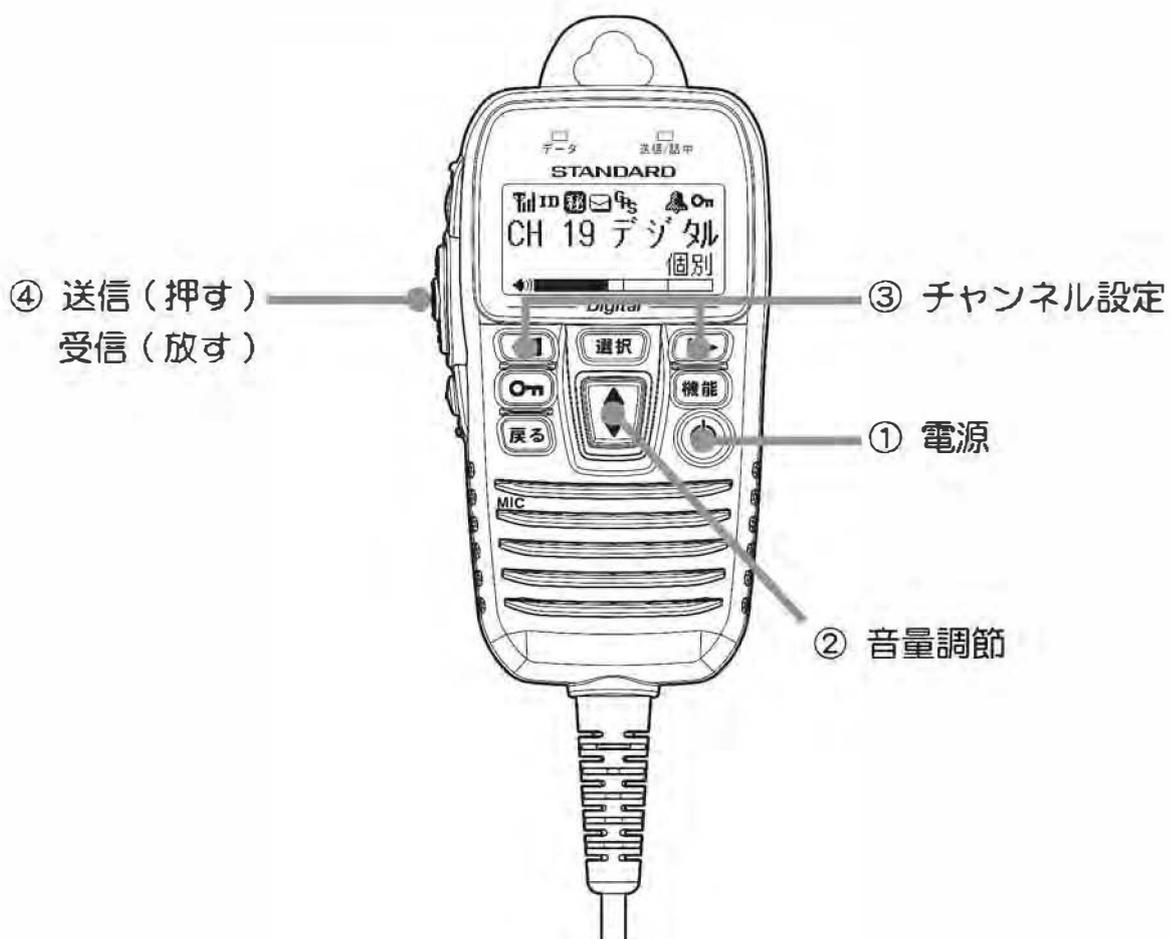


## GPS レシーバー “FGPS-3KIT” について

“FGPS-3KIT” は、本機を利用した位置情報を取得するための専用オプションです。

VXD4500V への取付は、販売店でのみ可能ですので、ご購入の際は販売店にご相談ください。

## 通信の基本操作

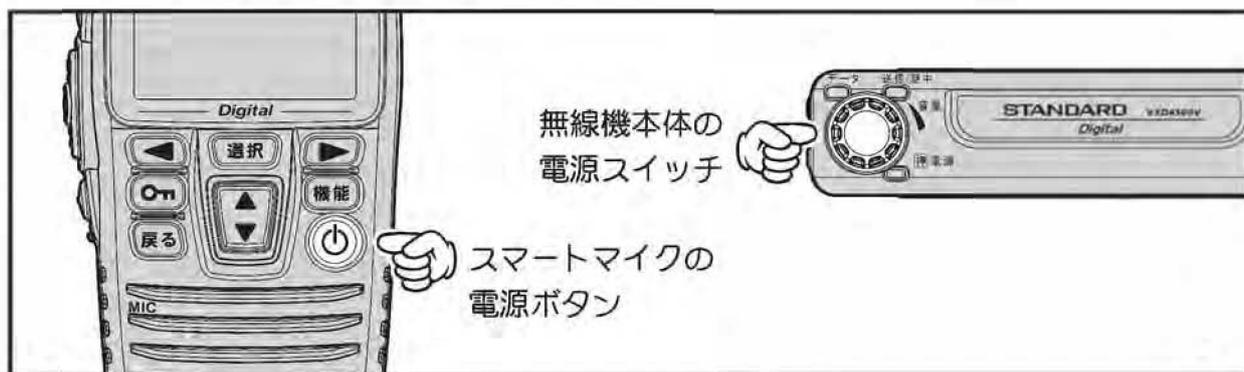


### ① 電源を入れる

電源ボタンを約 1 秒間押し続けると、電源が入ります。

#### 補足

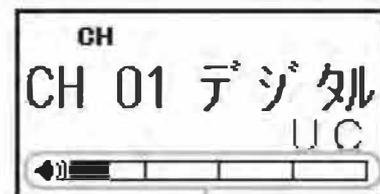
- ディスプレイに起動画面が約 2 秒間表示され、「ピポツ」という電子音とともに待ち受け画面に変わります。
- 無線機本体の電源スイッチを約 1 秒間押すことでも電源を入れることができます。



## ② 音量を調節する

“▲”または“▼”ボタンを押して、ビープ音が適切な音量になるように調節します。

- 無線機本体の音量調節ツマミでも、音量を調節することができます。この場合ビープ音が鳴りませんので、ディスプレイ下部の音量バーを目安にして調節してください。



音量の目安

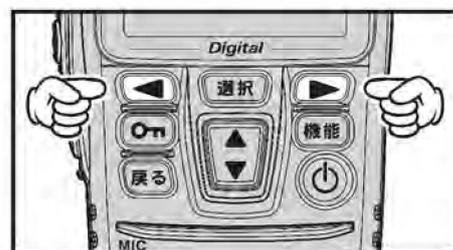


## ③ チャンネルをあわせる

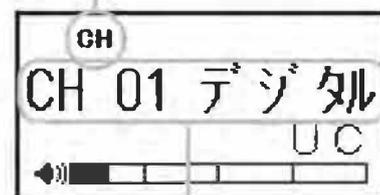
“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手と同じチャンネルにあわせます。

**補足**

- ディスプレイに“CH”が点灯しているときに、チャンネルを選択することができます。“CH”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください(21ページ参照)。
- アナログ通信で使用できるチャンネルは、“CH 01”～“CH 09”です。
- デジタル通信で使用できるチャンネルは、“CH 01 デジタル”～“CH 19 デジタル”です。



“CH”の表示



相手局と同じチャンネル

次ページに続く

## ビープ音によるチャンネル確認

スマートマイクのディスプレイが確認できないような場合、ビープ音で“デジタルチャンネル”と“アナログチャンネル”の状況を確認することができます。

	デジタルチャンネル	アナログチャンネル
チャンネル1ビープ	ポピ	ピポ
チャンネル切り替え音	ピ	ポ

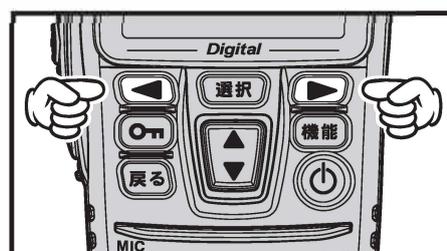
### ④ 通話したい相手局を選択する

特定の相手を選択する必要が無い場合は⑤に進んでください。

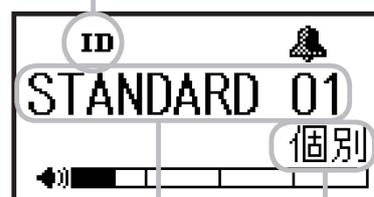
個別通信で相手を呼び出す場合は、次の手順で相手局を選択します。

“◀”または“▶”ボタンで、通話したい相手局を選択します（下表参照）。

- ディスプレイに“ID”が点灯しているときに、相手局を選択することができます。“ID”が点灯していない場合は“簡易リスト”の“キー切替”を行ってください（21ページ参照）。
- あらかじめ個別通信設定がされている場合は、電源投入後の待ち受け画面に「呼び出す相手局」と「個別」、「グループ」、「一斉」のいずれかが表示されます。



“ID”の表示



呼び出したい相手局

個別・グループ・一斉

通信形式	選択できる相手局	動作
デジタル通信 アナログ通信	一斉	設定した全ての局を呼び出します。
	グループ番号 またはグループ名	設定したグループに属する全ての局を呼び出します。
	個別番号 または個別名称	設定した局だけを呼び出します。

## ⑤ 送信（通話）する

PTT ボタン（送信ボタン）を押しながら、マイクに向かって話します。

- 混信を防ぐため、他の無線局が話をしていないとき（通話表示 LED が点滅していないとき）に、送信するようにしてください。
- マイクと口元の間隔は、5 cm 位が適当で、普通の声量で話します。マイクと口元の間隔が近すぎたり、声が大きすぎたりすると、音声割れたり、歪むことがあります。
- 送信中は、通話表示 LED が赤色または青色に点灯し（9 ページ参照）、LCD に “**Yil**” が点灯します（送信出力が 1W に設定されている場合は “**Y**” が点灯します）。
- 連続送信時間は 5 分未満と決められています。本機では送信を開始してから約 4 分 50 秒後にアラームが「ピピピ」と鳴り、送信開始から 5 分が経過する前に、自動的に送信が止まります。そのまま PTT ボタン（送信ボタン）を押し続けた場合、送信を開始してから 5 分間経過すると、その後 1 分間は送信禁止状態になります。アラームが鳴った際は、速やかに送信を中止してください。



“**Yil**” が点灯



次ページに続く

## ⑥ 相手の音声を受信します

PTT ボタン（送信ボタン）を離すと受信状態になり、送信を開始した相手の話を聞くことができます。

- 信号を受信すると、通話表示 LED が点滅し（9 ページ参照）、電波の強さに応じて、ディスプレイの“アンテナマーク”が点灯します。
- 個別通信の場合、相手の話が終わると通話保持時間（初期値は 5 秒）がお互いに設定されます。応答は、通話保持時間（応答待ち時間）の間に行ってください。

信号を受信すると点灯



## ⑦ 電源を切ります

電源ボタンを約 2 秒間押し続けると、電源が切れます。

- 無線機本体の電源ボタンでも電源を切ることができます。
- オプションの直流安定化電源装置“FP-33”を使用している場合は、“FP-33”の電源を先に切った場合、無線機の設定変更が記憶されないことがありますので、無線機の操作をした後 1～3 秒程度経過してから、“FP-33”の電源を切ってください。



## 呼び出しを受けたとき

個別通信方式で呼び出しを受けると、ディスプレイ表示の点滅、電子音（着信ベル）、LEDの点滅により、呼び出しがあったことを知らせ、同時に通話保持時間（初期値は5秒）が設定されます。

すぐに応答することができなかった場合、通話保持時間が経過すると“不在着信状態”となり、呼び出してきた相手局IDの表示が点滅します。その状態でPTT（通話）ボタンを押すと、相手局を呼び返すことができます。

不在着信状態をキャンセルする場合は、“戻る”ボタンを押してください。

個別通信で呼び出された方式（個別、グループ、一斉）による電子音（着信ベル）などの設定は、“拡張機能”（28ページ参照）を参照してください。また、LEDの表示については“LEDの動作概要”（9ページ参照）を参照してください。

### 個別呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、呼び出してきた相手局のIDが点滅表示されます。



相手局のID

### グループ呼び出しを受けたとき

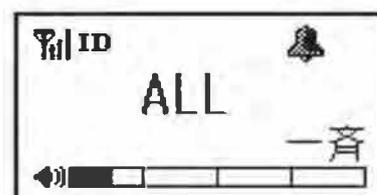
ディスプレイに、呼び出されたグループのIDが表示されます。



グループID

### 一斉呼び出しを受けたとき

ディスプレイに、“一斉”が表示されます。



## その他の基本ボタン操作

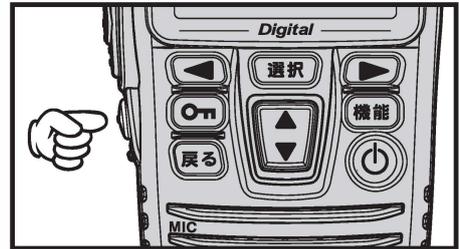
### モニターボタン

#### ■アナログチャンネルのとき

モニターボタンを押すと、異なるトーンやデジタルコードの音声をモニターすることができます。

**補足**

相手の声が途切れて聞こえるときなどに押すと聞きやすくなる場合があります。



#### ■デジタルチャンネルのとき

モニターボタンを押すと、異なる個別IDやUC(ユーザーコード)の音声をモニターすることができます。

**補足**

秘話通信機能が動作している無線機の音声を、モニターすることはできません。

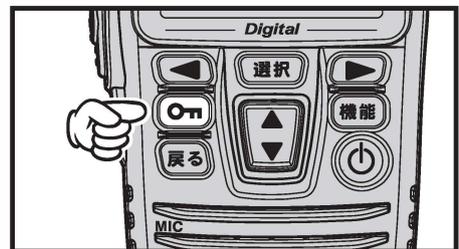
### キーロックボタン

誤って各ボタンを押しても、チャンネルなどの設定が変わらないようにすることができます。

“**🔒**” ボタンを2秒間押し続けると、ディスプレイに“**🔒**”が点灯し、ボタンがロックされます。

**補足**

- キーロックが動作中に各ボタンを押すと、ブープ音が鳴り、ロック中であることを知らせます。
- キーロックをしても、電源ボタン、緊急ボタン、PTTボタン、モニターボタン、音量調整ボタン(▲/▼ボタン)またはツマミはロックされません。
- PTTボタン、音量調整ボタン(▲/▼ボタン)をロックすることができます(販売店にご相談ください)。



#### ●ロックを解除するには

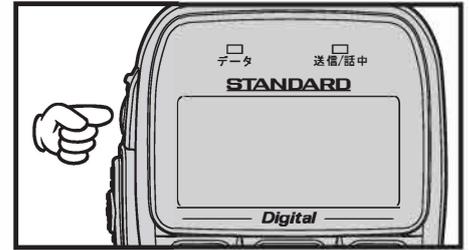
ロックが動作中に“**🔒**” ボタンを2秒間押し続けるとロックが解除されます。

ディスプレイの“**🔒**”表示が消えます。

## 緊急ボタン

不慮の事故などの緊急事態を、アラーム音とLEDの表示で周囲に知らせたり、緊急信号を送出して、他の仲間に緊急を知らせることができます。

“緊急” ボタンを2秒以上押すと、48ページに記載の“F05 緊急モード”で設定した動作をおこないます。



**補足**

緊急アラーム機能の動作を停止させるには、電源を切ってください。

### ●緊急信号を受信したとき

デジタル個別通信時に緊急信号を受信すると、ディスプレイに緊急信号を発信した局のIDを表示し、LEDインジケータが白色で点滅します。さらに、しばらく何も操作をおこなわないと、電子音が鳴り続けます。

**補足**

- 電子音は、いずれかのボタンを押すと止まります。
- 緊急ボタンを押すと、緊急受信モードは解除されますが、再び緊急信号を受信すると、再度電子音が鳴り始めます。

緊急信号を受信したときに、PTT ボタンを押して送信すると、自動的に“一斉呼び出し”（同じチャンネルにあわせている、全ての局を呼び出す）に切り替わり、緊急信号を発信した相手局に対して、音声での問いかけや、応答をすることができます。

## 選択ボタン

ボタンの押し方により2種類の動作をおこないます。

### ■呼び出し先リストの表示

個別通信運用時に、呼び出し先リスト（一斉、グループ、個別）を表示します。



### ■運用モードの切り替え

アナログ通信とデジタル通信の両方をご利用の場合、2秒間押し続けるとチャンネル表示に切り替わり、「アナログチャンネル」と「デジタルチャンネル」を切り替えます。

再度2秒間押し続けると、それぞれの運用モードで最後に設定されたチャンネルに切り替わります。

**補足**

個別通信で宛先画面を設定している場合は、約2秒後にチャンネル表示から呼び出し先表示に切り替わります。

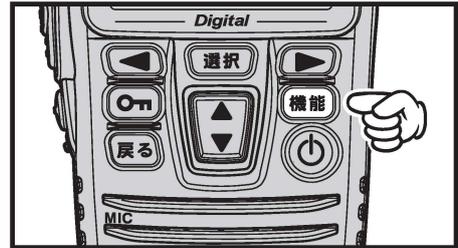
## 機能ボタン

“機能” ボタンは、押し方により 2 種類の動作をおこないます。

### ■ 簡易リスト

2 秒以内で押すと「簡易リスト」が表示され、“CH/ID キー動作の切り替え” や “ホームチャンネルの設定” など、無線機の動作設定の確認や変更をすることができます。

詳細は、次ページの“簡易リスト”をご覧ください。



### ■ 送受信メニュー（デジタル個別運用時のみ有効です）

約 2 秒以上押し続けると「送受信メニュー」が表示され、“発着信履歴” や “ショートメッセージの送信や確認”、“アンサーバック（問い合わせ）”をおこなうことができます。

## 個別通信設定と受信待ち受け画面について

デジタル通信方式とアナログ通信方式の両方をご利用になる場合、混信を防止するためデジタルチャンネルには“UC(ユーザーコード)”を、アナログチャンネルには“トーン”または“デジタルコードスケルチ”を設定してください。

また、個別通信を行う場合は、全ての無線機に“ID リスト”を作成し、それぞれの無線機に自局の ID を記憶させる必要があります。

なお本機には、あらかじめ仮の ID リストが作成されていますが、お客様の運用形態に合わせて、再構成することをお勧めいたします（設定は販売店が行いますので、お買い上げの販売店にご相談ください）。

	デジタル通信方式		アナログ通信方式	
	個別通信運用	UC 通信運用	個別通信運用 (セレコール)	トーンスケルチ または デジタルコードスケルチ
通信方式と設定	個別通信運用	UC 通信運用	個別通信運用 (セレコール)	トーンスケルチ または デジタルコードスケルチ
必要な設定	UC と ID 設定	UC 設定	アナログ UC と アナログ ID 設定	トーン周波数 / コード
◀/▶ ボタンの 機能設定	ID 呼び出し先設定	CH チャンネル設定	ID 呼び出し先設定	CH チャンネル設定

## 簡易リスト

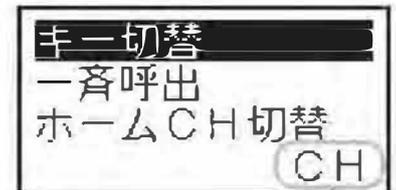
待ち受け画面で“機能”ボタンを押すと、“CH/ID キー動作の切り替え”や“ホームチャンネルの設定”など、無線機の動作設定の変更や確認をすることができます。 ※ “一斉呼出”は、デジタル個別通信時のみ表示されます。

項目	初期値	設定値 / 表示項目	機能
キータン	CH	CH/ID	◀/▶ ボタンの動作選択
一斉呼出	通話	通話 / アナウンス	一斉呼び出しを受けた際の応答待ち時間の有無設定
ホームCH切替	ラスト	ラスト / ホーム	ホームチャンネルの呼び出し
自局情報	—	UC / 個別 ID / グループ ID	自局のUC、個別 ID やグループ ID を表示します。
無線機情報	—	周波数 / Tone	現在の周波数、トーンスケルチ周波数、DCS(デジタルコードスケルチ)コードを表示します。

**キータン** ～個別通信で使用する設定です～

◀/▶ ボタンを押したときの動作を設定することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② “キータン”が選択されていることを確認する。  
現在の動作が表示されます。
- ③ “選択”ボタンで、希望の動作を選択する。  
“CH”：運用チャンネルの変更。  
“ID”：個別通信相手先のIDの選択。
- ④ “戻る”ボタンを押す。  
設定を行う前の画面に戻ります。



現在の動作

## 一斉呼出 ～デジタル個別通信で使用する設定です～

個別通信で“一斉”呼び出しをおこなう際、相手局側の応答待ち時間を無効にすることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“一斉呼出”を選択する。  
現在の設定が表示されます。
- ③ “選択”ボタンで、希望の動作を選択する。  
“通話”：応答待ち時間が有効になります。  
“アナウンス”：応答待ち時間が無効になります。
- ④ “戻る”ボタンを押す。  
設定を行う前の画面に戻ります。



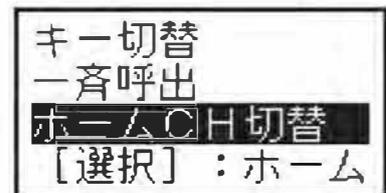
現在の設定

## ホームCH切替

あらかじめ記憶させた、よく使用するチャンネル（ホームチャンネル）を呼び出します。

※ホームCHの設定については、お求めの販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“ホームCH切替”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、ホームCHに切り替わる。  
ホームチャンネルで、再度上記の操作を繰り返すと、ホームチャンネルに切り替わる前のチャンネル（ラストチャンネル）に戻ることができます。



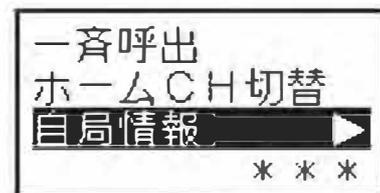
## 自局情報

無線機に設定してあるUC(ユーザーコード)、個別ID、グループIDを表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“自局情報”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示される。

アナログチャンネルとデジタルチャンネルでは、表示される内容が異なります。

- ④ “戻る”ボタンを押す。  
情報を表示させる前の画面に戻ります。



## 無線機情報

現在設定してあるチャンネルの周波数、トーンスケルチ周波数などを表示させることができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを押す。
- ② ▲/▼ボタンで“無線機情報”を選択する。
- ③ “選択”ボタンを押すと、設定されている内容が表示される。

- ④ “戻る”ボタンを押す。  
情報を表示させる前の画面に戻ります。



## 送受信メニュー ～デジタル個別通信時で使用する機能です～

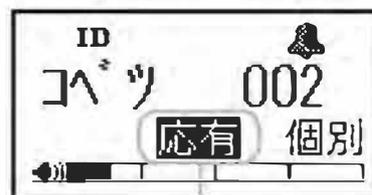
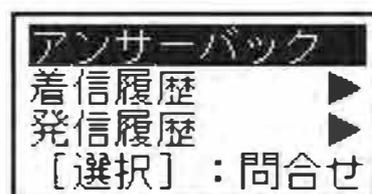
待ち受け画面で“機能”ボタンを約2秒以上押すと、相手と交信可能かどうかの確認、着信履歴、発信履歴の確認などの操作をおこなうことができます。

項目	機能
アンサーバック	待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。
着信履歴	着信した信号の発信元を、新しい順に表示します(最大10件)。
発信履歴	発信した信号の発信先を、新しい順に表示します(最大10件)。
メッセージ送信	あらかじめ登録されたメッセージ(最大10件)を送信することができます。
メッセージ確認	受信したメッセージを、新しい順に表示します(最大10件)。

### アンサーバック

待ち受け画面に表示されている相手局と、交信できる状態かを確認することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能”ボタンを2秒以上押す。
- ② “アンサーバック”が選択されていることを確認し、“選択”ボタンを押す。
- ③ 送信状態になり、相手局に対して「問い合わせ」の信号を送出して、その後結果を表示する。  
 “応有”：相手局と交信可能な状態です。  
 “応無”：「相手局の電源が入っていない」、「距離が離れすぎている」などの原因で、相手局と交信できない状態です。
- ④ “戻る”ボタンを押す。  
 結果を表示させる前の画面に戻ります。



問い合わせの結果

## 着信履歴

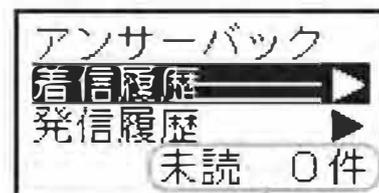
これまでに着信した信号の発信元を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“着信履歴” を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ 着信履歴が表示される。



- ▲ / ▼ ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
- ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (▶ ボタンでキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

- ⑤ “戻る” ボタンを押す。  
着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

## 発信履歴

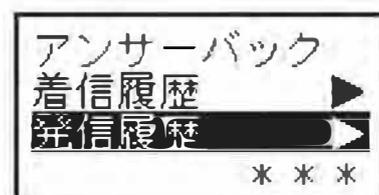
これまでに発信した信号の発信先を、新しい順に最大 10 件まで表示することができ、PTT ボタン（送信ボタン）を押すと、表示されている ID の相手呼び出すことができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“発信履歴” を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ 発信履歴が表示される。



- ▲ / ▼ ボタンで、発信履歴を切り換えることができます。
- ▶ ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (▶ ボタンでキャンセル)。
- PTT ボタンを押すと、選択されている ID の相手呼び出すことができます。

- ⑤ “戻る” ボタンを押す。  
発信履歴を表示させる前の画面に戻ります。

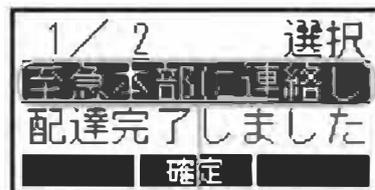


## メッセージ送信

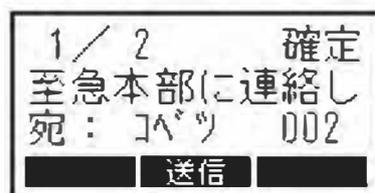
あらかじめ登録されたメッセージ(最大10件)を送信することができます。

※メッセージの設定は、販売店にご相談ください。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを2秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“メッセージ送信”を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ ▲ / ▼ ボタンで送信したいメッセージを選択する。
- ⑤ “選択” ボタンを押す。
- ⑥ 宛先を確認し、“選択” ボタンを押す。  
メールマークが点滅します。
- ⑦ 個別宛先で送信した場合に限り、相手局に正しくメッセージが届いたかどうかの結果を表示する。  
“応有”：正しくメッセージが届いた場合。  
“応無”：正しくメッセージが送られなかった場合。
- ⑧ “戻る” ボタンを押す。  
メッセージを送る前の画面に戻ります。



メッセージを選択



メッセージを受信すると、ディスプレイに“■”マークが点滅し、同時にメッセージを表示(スクロール)します。

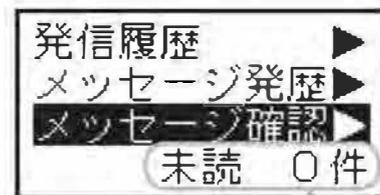
メッセージを確認後“戻る” ボタンを押すと、メッセージを受信する前の状態に戻ります。

## メッセージ確認

これまでに受信したメッセージを、新しい順に最大 10 件まで表示することができます。

- ① 待ち受け画面で“機能” ボタンを 2 秒以上押す。
- ② ▲ / ▼ ボタンで“メッセージ確認”を選択する。
- ③ “選択” ボタンを押す。
- ④ メッセージの着信履歴が表示される。
  - ▲ / ▼ ボタンで、着信履歴を切り換えることができます。
  - ► ボタンを押した後に ◀ ボタンを押すと、選択されている履歴を消去することができます (► ボタンでキャンセル)。
- ⑤ “戻る” ボタンを押す。

着信履歴を表示させる前の画面に戻ります。



未読件数

補足